

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・国語「思いやりのデザイン」「アップとルーズで伝える」から構成や言葉の使い方を理解する。
- ・2つの説明文を通して学んだ考えの述べ方を活かして、伝えたいことを文章にまとめる。
- ・調べたことや経験したことの例の挙げ方を効果的に考える。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・ユニバーサルデザインが使われている物について、必要な資料などの情報を集める。
- ・集めた情報の中から自分が伝えたい物を1つ選び、さらに詳しく資料を使って調べる。
- ・引用したり目的に応じて資料を用いたりして、自分の考えが伝わるように絵や文章にまとめる。

本単元で育む主な情報活用能力

B-STEP 2, C-STEP 2
D-STEP 2, G-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (全11時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (6時間)	○「思いやりのデザイン」「アップとルーズで伝える」を読み、筆者の考えの述べ方をとらえる。 ・2つの説明文を読み、文の構成と考えの述べ方をとらえる。 ・筆者が述べたい考えを印象付けるためにどのように具体例を挙げているかを考える。
第2次 (5時間)	○ユニバーサルデザインについて調べ、分かったことや伝えたいことを絵や文にまとめる。(☆) ・「思いやりのデザイン」の説明文に関連づけ、誰もが使えるという観点からユニバーサルデザインについて図書資料で情報を集める。 ・調べたい情報の中から自分が伝えたい物を1つ選び、図書資料やインターネットなどでさらに詳しく情報を集める。 ・調べたことをポスターにまとめる。(本時) ・伝えたい物の使い方・使われ方などの中で伝えたいことを説明文の構成(はじめ・中・おわり)を使い、文章にもまとめる。 ・できあがったポスターと文章を読み合い、作品のよさ・感想を伝え合う。

本時のねらい

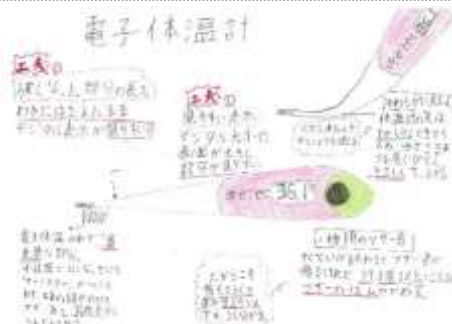
- ・調べたことをユニバーサルデザインの視点を取り入れ、読み手が見やすいように工夫しながらポスターにまとめる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前時までの学習をふりかえる。 ・ユニバーサルデザインがどのようなものか確認する。 ・生活の中でユニバーサルデザインが使われているものにどのようなものがあったか出し合う。	・「思いやりのデザイン」の学習をふりかえらせる。 ・ユニバーサルデザインがだれでも使うことができるようにしているデザインであること、「だれでも」の中には自分も入っていることをおさえる。
展開 (37分)	2. 調べたことの中から、より伝えたい情報を選ぶ。 ・これまでに調べて書いたことを整理する。 ・自分が大事だと思うことをまとめる。 3. 選んだ情報をもとに、ポスターを書く。 ・絵を大きく書いたり、吹き出しや矢印、図をつけ加えたりして、だれも見やすいポスターを書く。	・調べたことの中から、自分が特に大事だと思うところに印や線をひかせ、取捨選択させる。 ・自分で大事なところを選ぶのが難しい児童に個別に声かけや対応をする。 ・ユニバーサルデザインの観点から、誰もが見やすいポスターにするには、どのような工夫が考えられるか学級全体でも共有する。
まとめ (3分)	4. ふりかえりと次時の学習の見通しをもつ。 ・ポスターを見返し、次時にポスターをもとに第1次で学習した文の構成・考えの述べ方を活かして文章を書くことを知り、次の見通しをもつ。	・周りの仲間とポスターを見せ合い、いい工夫や見やすいところを伝え合う。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・調べ学習に入る前に、昨年度「福祉教育」車いす体験時に学習したことや国語の「思いやりのデザイン」で学習したことを思い起こさせたため、子どもたちがユニバーサルデザインについてイメージすることができ、調べたいことを明確にすることができた。
- ・調べたいことを明確にすることで、情報を集める時に目的意識をもって資料を使っている児童が多かった。
- ・子どもたちから、「小さい絵のところを大きくして書いていい？」などの声があがり、自身で誰もが見やすくなるような構成の工夫をしていた。
- ・次時にポスターをもとに文章を書くことが難しかった。説明文に表現する時、「はじめ」は書くことができるが、「中」の段落のつけ方が難しかった。また、調べたことをまとめることはできるが、「分かったこと」と「自分の考え」との区別がつかない児童がみられ、今後の課題となった。



ユニバーサルデザインの中でテーマを1つにしぼり、調べたことを見やすくポスターにまとめた。